



■発行 地域活性化団体 よかつらみさくば（管理受託者）

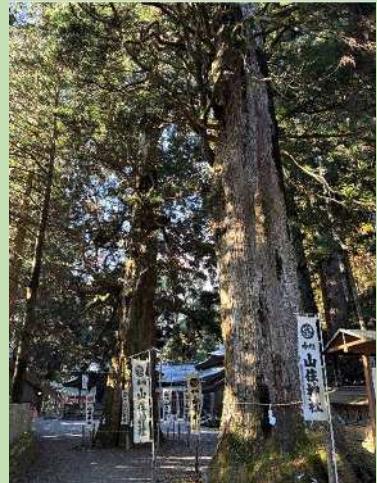
浜松市水窪支所 生涯学習グループ・水窪図書館

■問合せ/☎ (053) 982-0013

■町のできごと

山住神社秋の例大祭

11月17日(月)、山住神社にて秋の例大祭が執り行われました。境内では神事に続いて神楽舞が奉納され、秋の澄んだ空気の中で長く受け継がれてきた信仰を大切に思う参拝客の姿が見られました。恒例の「餅投げ」では和やかな雰囲気に包まれ、参拝客からは笑顔がこぼれました。かつては古道を参拝道として利用したと伝えられていますが、現在は車道から雄大な山並みと鮮やかな紅葉を望むことができ、その景観もまた秋の祭りを彩る絶景となりました。



地域の心に響く、「水窪っ子」の発表会

11月22日(土)、水窪幼・小・中合同による文化祭が開催されました。

幼稚園児のダンスの演目では、小中学生全員がステージに上がり、笑顔で一緒に踊りました。

保護者や地域の皆さんからは「子どもたちの学びや成長を感じられ、胸が熱くなった」との声が寄せられました。会場全体が温かな雰囲気に包まれました。



■文化会館のできごと

劇団たんぽぽ公演 in 水窪

11月30日(日)、劇団たんぽぽによる公演「森林(もり)のてんぐ屋さん」が水窪で開催されました。水窪の子供たちはこの舞台のための歌づくりに参加し、当日も元気いっぱいに歌声を披露しました。劇団たんぽぽはかつて水窪小学校にも来てくださったことがあり、当時を思い出し懐かしさに浸る方も多く見受けられました。

今回の「森林(もり)のてんぐ屋さん」は水窪での初回公演を皮切りに、今後全国へと展開されいくそうです。



文化会館前では「よかつらみさくば」主催による「森林のマルシェ」が劇団たんぽぽの公演と同時開催されました。青空のもと屋台が並ぶ会場にて来場者はお祭り気分を楽しんでいました。



「調べ学習コンクール」での受賞作品を展示

子どもたちの「知りたい」を育むために浜松市で毎年開催される「調べ学習コンクール」。

昨年、坂本那実さん(現・水窪中1年)が地域の伝統神事「今田の花の舞」をまとめた作品で優秀賞を受賞されました。

さらに全国大会「図書館を使った調べる学習コンクール」でも優良賞に輝きました。

郷土を大切にし、未来へつなげたいという思いが込められた作品は、現在、文化会館ホワイエにて展示しております。



安心につながるスマートフォンの学習

12月2日(火)、情報モラル講座を開催しました。
「この電話に出ても大丈夫?」「知らないメールや
LINEを開いてもいいの?」そんな日常の不安を解消することを
目的に、参加者の皆さんと一緒に学びました。



講座ではカードゲームを活用し、「こんな時どうする?」という場面ごとに対応を考えながら、
安心してインターネットを利用するための知識を身につけました。

■文化会館からのお知らせ

星空観望会 天体観測ドームで星を観ましょう!!

日時 1月13日(火) 午後7時30分~9時

見どころ 木星・土星・オリオン座大星雲

会場 水窪文化会館 天体観測ドーム



ホールのステージを無料開放します

1月の開放日 毎週月曜日 (5日、19日、26日) 時間 午前9時~午後5時

文化会館にあるピアノの使用、ご自分の楽器を持ち込むこともできます

どうぞお気軽にご利用ください



令和8年水窪地区「はたちの集い」

水窪地区で20歳を迎える皆さまをお祝いする「水窪地区はたちの集い」を開催しま
す。20歳の門出を地域の皆様とお祝いしたいと思います。

どなたでも入場できますので、皆様のご参加をお待ちしております。

日時:令和8年1月3日(土曜日)開式:10時30分

会場:水窪文化会館 ホール

お問合せ 水窪地区はたちの集い実行委員会事務局 ☎053-982-0013



~みさくば 思い出の風景~

戦前の水窪町には、「水窪座」「八幡座」「三嶋座」という三つの劇場がありました。正月になると芝居が上演され、劇場のそばには「中茶屋」と呼ばれる売店が並びました。串芋や味噌田楽、焼きするめの香ばしい匂いが漂い、町は華やかな雰囲気に包まれていたそうです。

「正月のあの寒い夜、小畠「三嶋座」の舞台観客席に居て、張り巡らされた天幕が北風を孕み、その舞い上がった天幕と天幕の僅かなつなぎ目を通して、凍りついたような空にキラキラ輝く星を眺めながら、今は亡き母と共に温かい「おでん」を頬張ったのは、私の少年の日の「三嶋座」という舞台小屋での楽しい楽しいひと時であった。」

弓場清先生の著『山峡の町の歌舞伎とその舞台一小畠「三嶋座」を中心に』より

■図書館からのお知らせ 水窪図書館

おすすめ本

のご案内です

年末年始 休館のお知らせ

2025年12月29日(月)～2026年1月3日(土)です。通常、休館日は毎週月曜日です。

(月曜日も祝日の場合は開館し、翌日の火曜日を休館とします。※開館時間 午前9時～午後5時半まで

小泉セツ 八雲と『怪談』を作り上げたばけばけの物語

2025年秋からのNHK連続テレビ小説「ばけばけ」のヒロインのモデルとなった、小泉八雲（ラフカディオ・ハーン）の妻・小泉セツ。ハーンとの邂逅（かいこう）、ふたりの共同生活や晩年、ふたりが生きた時代などをビジュアルに紹介。



小泉八雲とセツその言葉と人生

四條たか子/著

「怪談」などの著作で知られる明治時代の作家・小泉八雲と、妻のセツ。夫婦のエピソードを2人の言葉・写真でたどるほか小泉八雲の曾孫・小泉凡のインタビュー、「雪女」「ろくろ首」など怪談4編を収録する。



読む昭和の名曲 63 60★70★80年代もういちど聞きたい

GS・フォーク・ニューミュージック 松井信幸/著

「想い出の渚」「なごり雪」「駅」…。昭和のポップス系ヒット曲を、グループサウンズ・フォークソング・ニューミュージックに分け、名曲の制作秘話やミュージシャンにまつわるストーリーを紹介。歌詞の一部も掲載。



「どうせ自分なんて」と思う君に、知ってほしいこと 加藤隆行/文

自分を信じて小さな自信を育てよう！自分を好きになれない小学生に向けて、子どもが自分自身で自己肯定感を育んでいくためのヒントを紹介する。「みんなのお悩み相談室」も収録。



さらば！店長がバカすぎて

早見和真/著

カリスマ書店員・谷原京子は、長いスランプが続いていた。ぶつ飛んだ店長や書店を取り巻く厳しい状況と日々、闘いながらも、自らの人生と書店の未来を切り開いていくこうとするが…。



のこったのこった おおなり 修司/文 中川 学/絵

東西の両横綱による大一番。「まったくなし。てについて、はっけよーい…のこった、のこった、のこった、のこった！」激しい立ち合いから思わず展開に！？



山でクマに会う方法

これだけは知っておきたいクマの常識

米田 一彦/著



ともに生きる

山のツキノワグマ

前川貴行/写真・文

